

I 調査結果の概要

1 令和元年6月30日現在の在庫量

令和元年6月30日現在における1農業経営体当たりの米の在庫量は298kgとなり、前年同月に比べ5.7%減少した。

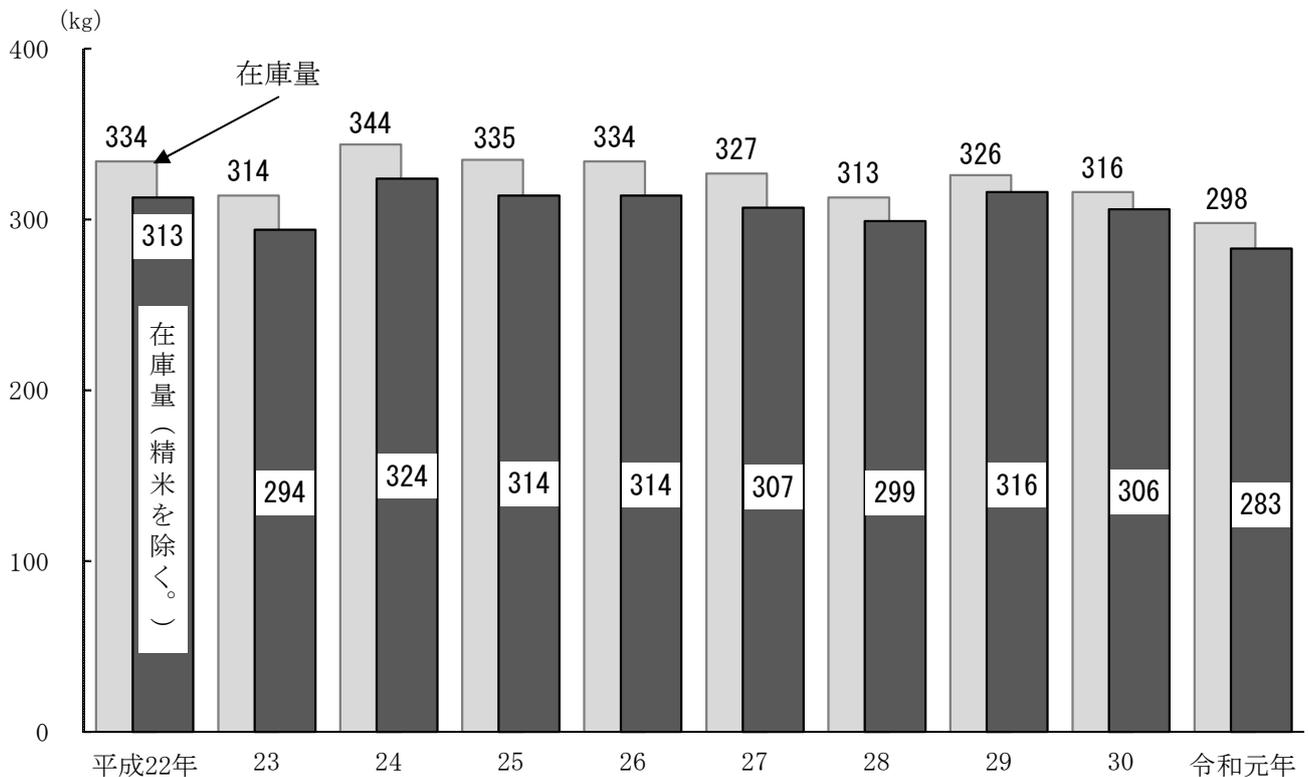
このうち精米を除く在庫量は283kgとなり、前年同月に比べ7.5%減少した。

表1 6月30日現在における米の在庫量（全国）

区分	平成30年 6月30日現在	令和元年 6月30日現在	前年同月との比較	
			対差	増減率
在庫量	kg 316	kg 298	kg △ 18	% △ 5.7
うち精米を除く	306	283	△ 23	△ 7.5

注：平成30年6月30日現在の調査対象は販売農家であるが、令和元年6月30日現在の調査対象は農業経営体（以下「経営体」という。）である。

図1 6月30日現在における米の在庫量の推移（全国）



注：平成30年までの調査対象は販売農家であるが、令和元年の調査対象は経営体である。

2 平成30年の米の収穫量、販売量、在庫量等

平成30年（平成30年6月から令和元年5月までの1年間をいう。以下同じ。）における1経営体当たりの米の収穫量は8,030kg、販売量は7,494kg、自家消費量は391kgとなった。

また、令和元年5月31日現在の1経営体当たりの米の在庫量は368kgとなった。

表2 米の収穫量、販売量、在庫量等（全国）（平成30年）

単位：kg

区分	収穫量	購入量	販売量	無償譲渡량	自家消費量	5月31日現在の在庫量
水稲うるち米・ 水稲もち米計	8,030	102	7,494	223	391	368
水稲うるち米	7,816	96	7,302	211	375	357
水稲もち米	213	6	191	12	17	11

3 平成30年の水稲うるち米の販売先別販売量の割合

平成30年における1経営体当たりの水稲うるち米の販売先別販売量の割合は、JA等が最も多く68.8%、次いで卸・小売業者が16.6%、一般消費者等が11.0%、外食事業者が1.5%の順となった。

図2 水稲うるち米の販売先別販売量の割合（全国）（平成30年）

